様式１

実践報告資料

人権課題（　子ども　）

研究内容【 ⑴、⑵、⑶、⑷】

研究テーマ『　いじめの解消や児童虐待、セクシャル・ハラスメント、ドメスティック・バイオレンスの予防・解決に向けた、実践的対応力育成の研究　』

学校名（　尼崎市立武庫中学校　）

ア　人権教育としてのねらい

- お互いを認め合う多様性教育を推進し、ともに生きる「共生社会」の実現に主体的に取り組む実践力を育てる。
- 児童虐待やセクシャル・ハラスメント、ドメスティック・バイオレンスの予防のための家庭や地域、校種間の連携を構築する。

イ　研究の概要

- インターネットや携帯電話を使ったいじめの解消に向けて規範意識づくりと具体的な利用方法の確立。
- 発達段階に応じた生命を尊重する心の育成。
- 男女共同参画社会の実現のため、セクシャル・ハラスメント、ドメスティック・バイオレンスの予防を目的として、その概念の理解と態度の育成。
- 児童虐待を予防するための学校・家庭・地域の連携や関係機関との協同体制の確立。

領域	教　科	道　徳	特別活動	総合的な学習の時間
指導者	保健体育担当	１年担任	全担任	全教員
実施日	11 月 13 日	６月 12 日	11 月８日	10 月３日
取組名	命の教育	携帯トラブル	携帯に潜む危険	幸せになるために
目　標	思春期の体と心の変化を確認し、男女が互いに認め合う態度を培う。	インターネットや携帯電話を使ったいじめの解消に向けての規範意識づくり。	携帯電話やインターネットの仕組みを知ることで被害を防ぐ方法を学ぶ。	DV とは何かを知り、その被害に遭わない、また加害をしないための意識や態度を養う。
資料名	心身の発達と心の健康 思春期の心（１年） 男女交際（２年） （大日本図書）	「今、困っています」 エンカウンター・エクササイズ 12 か月中学校（明治図書）	「あなたの投稿は消せない…」 （講師による資料）	DV 防止啓発パンフレット「わたしもあなたも大切に」 （兵庫県教育委員会）
指導内容や指導方法の工夫等	講師を招き、思春期には自分でもコントロールしにくい変化が表われてくることを知り、それに向き合える態度を学ぶ。 事前にグループ学習を行い、お互いを認める雰囲気を作っておく。 講師への質問を書かせ、それによって講演を進める。	インターネットや携帯電話の使い方について、グループ学習形式で意見交流ができる。 ５つの事例から１つを選んで、対応や解決策、アドバイスを考えさせることができる。 同じ番号を選んだものが集まり、感想などを話し合うことで、お互いの考えを深め合い、批評しあうことができる。	講師を招き、携帯電話やインターネットの被害の実情を話してもらい、安全に使う方法を学ぶ。 LINE やフェイスブックを否定するのではなく、利用するときに注意しなければならないことを学ぶ。 事前にアンケート調査を行い、生徒の携帯電話等の使用状況を調べておく。	実際に DV を受けた講師を招き、その経験から被害に遭わないためにはどうすればよいか、また加害者にならないために相手の人権を尊重する姿勢を学ぶ。 講演前と講演後に DV に関するアンケート調査を行い、講演の効果を確認する。